SCIRA JAPAN

第73回全日本スナイプ級ヨット選手権大会
開催地：和歌山セーリングセンター
大会期間：2020 年11月 12 日（木）～ 11月 15日（日）

帆走指示書 (Sailing Instructions）

略語

[SP]	レース委員会、またはテクニカル委員会が審問なしに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。これはRRS 63.1およびRRS A5を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合には審問を経てプロテスト委員会の裁量によりペナルティが決定される。
[NP]	艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これはRRS 60.1（a）を変更している。

1　規則

1.1　本大会は、「セーリング競技規則 2017-2020」(以下「RRS」という)に定義された規則が適用される。

1.2　現行のSCIRA規則、「国内及び国際選手権大会の運営規定」（以下「RoC」）が適用される。

1.3　付則 Pが適用される。

1.4　付則 Tが適用される

1.5　RRS 30.4 は用いない。

1.6　RRS 61.1(a)の 2 番目以降の文を以下と置き換える。 **「その抗議がレース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関わる場合、艇は最初の妥当な機会に赤色旗をはっきりと目立つように掲揚しなければならない。また、その艇はフィニッシュ後、速やかに、抗議する意思をレース委員会に伝えなければならない。ただし、」**

1.7　RRS 61.1(a)(1)を以下と置き換える。「相手艇が赤色旗掲揚で意思を伝える距離以上に離れている場合には、その意思を、帰着後、RRS 61.3 の 締切時刻までに、相手艇に伝えなければならない。」

1.8　RRS 61.1(a)(2)を削除する。

1.9　**[NP][SP][DP]** 本大会は**「第73回全日本スナイプ級ヨット選手権大会 ガイドライン及び健康チェックシート」**が適用される。右のQRコードをスキャンすることで入手できる。

2　識別 [NP][DP]

艇は、主催団体（OA）より支給されたバウナンバーステッカーを、指定された位置(添付図1)に貼付しなければならない。

3　競技者への通告とコミュニケーション

3.1　競技者への通告は、**大会公式掲示板（オンライン）**に掲示される。その通告は、**Eメール**で該当する艇のヘルムスマンに自動配信される。

3.2　**LINEオープンチャット**で参加登録した選手に情報を提供する。右のQRコードをスキャンすることで招待が受けられる。競技者は識別のため命名方法を、ヘルムスマンは、**セール番号（H）**、クルーは、**セール番号（C）**とする。

3.3　抗議、救済要求、成績照会、ジュリーへの質問、装備の交換、乗員の交代などの手続きを行う入力フォームは、**大会公式掲示板（オンライン）**の上部にある**青色の＋ボタン**を押す事でアクセスできる。**大会公式掲示板（オンライン）**は右のQRコードをスキャンすることでアクセスできる。

4　帆走指示書の変更

4.1　**帆走指示書（以下「SI」という）の変更**は、それが発効する当日のスタート予告信号予定時刻の90分前までに大会公式掲示板（オンライン）に掲示され、**Eメール**で各艇のヘルムスマンに自動配信される。

4.2 **レース日程の変更**は、それが発効する前日の18:00までに大会公式掲示板（オンライン）に掲示され、**Eメール**で各艇のヘルムスマンに自動配信される。

4.3 SIの変更あるいは修正は、SCIRA代表者の事前承認を得なければならない。

5　陸上で発する信号

5.1　陸上で発せられる信号は、和歌山セーリングセンター前にある信号柱に掲揚される。**LINEオープンチャット**で参加登録した選手に送信する。

5.2　音響1声とともに掲揚される**D旗**は、「予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発せられる。」ことを意味する。**[NP][DP]** 艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

5.3　**回答旗**が掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

5.4　予定されている予告信号の30分前までにD旗が掲揚されない場合は、時間の定めなく延期されていることを意味する。

5.5　陸上で**L旗**が掲揚された場合、「選手への連絡があるので、スマホかPCで大会公式掲示板（オンライン）を見よ」を意味する。

6　レース日程

6.1 レースの日程は、以下のとおりとする。

日（曜日）	最初のスタート予告信号予定時刻
11月13日　（金）	11：00
11月14日　（土）	11：00
11月15日　（日）	10：30

6.2　1日に実施するレースは3レース以内とする。レースは引き続き行われる。

6.3　選手ブリーフィングを、予告信号予定時刻の90分前に行う。（別途指示される）

6.4　一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6.5　レガッタ最終日は、14:00 を超えて予告信号が発せられることはない。

6.6　その他の日程

開会式 艇長会議	11月12日(木)	17:00 ～17:15 引き続き	**（You Tube）** **（Zoom）**
閉会式・表彰式	11月15日(日)	16:00 （予定）から	**（You Tube）**

7　クラス旗

スナイプ旗（白地に赤色のシギ）。

8　レース海面

添付図3にレース海面の位置を示す。

9　コース

9.1　添付図2に、各レグ間の概ねの角度、通過すべきマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2　予告信号以前に、レース委員会の信号艇に、最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

9.3　コース信号旗は予告信号の1分以前に音響信号1声とともに掲示され、スタート後10分間掲示される。

コース	W	O	T	W2	O2	T2
信号旗	W旗	O旗	T旗	W旗＋2旗	O旗＋2旗	T旗＋2旗

10　マーク

10.1 マーク1、2、3、3sおよび3pは、青色円筒形ブイとする。

10.2 風上/風下コースのオフセット・マーク(1bis)は黄色円錐形ブイとする。

10.3 スタート・マークは、スタート・ラインのスターボードの端にあるレース委員会の信号艇と、ポートの端にあるレース委員会艇とする。

10.4 フィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのスターボードの端にあるレース委員会艇とマーク1とする。W2、O2 、T2コースの場合は、ポートの端にあるレース委員会艇とスターボードの端にある黄色円筒形ブイとする。

10.5 SI 12.1に規定される新しいマークは、赤色円筒形ブイとする。

11　スタート

11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上の「オレンジ色旗」を掲揚しているポールの間とする。

11.2 スタート信号後5分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった（DNS）」と記録される。この項は、RRS A4及びA5を変更している。

11.3 レース終了後、またはゼネラル・リコール後（この場合はZFPのみ）速やかに、OCS、ZFP、またはUFDとなった艇のバウナンバーを、レース委員会信号艇（W・O・Tコースの場合フィニッシュ運営艇）に掲示する。掲示の失敗またはリストの不十分及び誤りは救済の要求の根拠にならない。これは、RRS 62.1(a)を変更している。

12　コースの次のレグの変更

12.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

12.2 レグの長さの短縮又は延長は、元のレグの長さの30%より大きくしない。これはRRS 33を変更している。

12.3 レースの最初の風上レグの間に、風が「W」・「W2」コースが勧められない点まで増加した場合、1マークのレース委員会運営艇に「O」または「O2」、あるいは「T」または「T2」の信号旗

を掲揚し、コース・タイプの変更を行う。この場合、艇はオフセットマークを回航することなくマーク2へ向かうことができる。ゲートマークは3Pの単独マークとなる。

12.4 「O」・「O2」・「T」・「T2」コースで最初の風上レグの間に風が減少したなら、1マークのレース委員会運営艇に「W」または「W2」の信号旗を掲揚し、コース・タイプの変更を行う。この場合オフセットマークは設置されない。艇はマーク1から直接マーク3へ向かうことができる。ゲートマークは設置される。

12.5 レース中のコース・タイプの変更は、最初の艇がマークを通過または回航する前に、レース委員会艇に反復音響信号と共に適切な信号旗を掲揚する。C旗は掲揚されない。これはRRS 33を変更している。

13　スタート後のコースの短縮及びレースの中止

13.1 コースの短縮は、レースにおけるレグの数が、少なくとも2回の風上レグを完了した直後にのみ、コースを短縮することができる。これはRRS 32.1を変更している。

13.2 レースの最初のレグの間に、掲示した方位から20度以上の風向きの変化が持続する場合には、レースを中止して再レースするか、または中止しなければならない。これはRRS 32.1を変更している。

13.3 最初のラップの間に掲示した方位から40度以上の風向の変化が持続する場合には、レースを中止して再レースするか、または中止しなければならない。このラップとは、初めてのマーク3またはゲート3s / 3pの回航、通過を意味する。これはRRS 32.1を変更している。

13.4 レース中に許容される最大風速（23ノット）が、連続して3分間以上超える場合、レースは中止されなければならない。3分未満であっても、繰り返しのある強いガストが風域の限界を超える場合は、中止することができる。これは、RRS 32.1を変更している。

14　フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボード（W2、O2またはT2のコースの場合はポート）の端にあるフィニッシュ・マーク上の「オレンジ色旗」を掲揚しているポールと、ポート（W2、O2またはT2のコースの場合はスターボード）の端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

15　ペナルティー方式

15.1 RRS Pは、P1.2の「セール番号」を「バウナンバーまたはセール番号」に変更して適用される。

15.2 標準ペナルティー**[SP]**を課された艇は、得点略語「STP」を用いて記録される。これはRRS A11を変更している。標準ペナルティーのリストは、11月12日の13:00 までに**大会公式掲示板（オンライン）**に掲示される。

15.3 プロテスト委員会は**裁量ペナルティー[DP]の目安（ガイドライン）**を、11月12日の13:00 までに大会公式掲示板（オンライン）に掲示する。

15.4 RRS T1に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語「ARB」を用いて記録される。これは、RRS A11を変更している。

16　タイム・リミット

16.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ、及びターゲット・タイムは、以下のとおりとする。これはRoC 5.1及び12.2を変更している。

1ラップの タイム・リミット	タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
40分	90分	20分	50～65分

16.2 1ラップのタイム・リミット内に1艇もマーク3を回航、またはゲート3s / 3pを通過しなかった場合、レースは中止される。これはRRS 32.1を変更している。

16.3 ターゲット・タイムどおりにならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

16.4 最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇、またはスタート後110分以内にフィニッシュしなかった艇、いずれか短い方の艇は審問なしに「フィニッシュしなかった（DNF）」と記録される。これはRoC 12.2、RRS 35、A4およびA5を変更している。

17　抗議と救済要求

17.1 抗議および救済または審問再開の要求は、**大会公式掲示板（オンライン）**の上部にある**青色の＋ボタン**を押す事でアクセスできる。**抗議書フォーム**に記入のうえ、締切時間内にオンラインで提出しなければならない。

17.2 **抗議締切時刻**は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。

17.3 審問の当事者であるか、または証人として指名された競技者に、**審問の予定**を知らせるため、抗議締切時刻後約30分以内に通告を**大会公式掲示板（オンライン）**に掲示し**、**その艇のヘルムスマンに**Eメールで連絡する。**審問はプロテスト・ルームで開催される。

17.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による**抗議の通告**を、RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるために**大会公式掲示板（オンライン）**に掲示し、その艇のヘルムスマンに**Eメールで連絡する。**

17.5 **RRS 42違反**に対するペナルティーを課せられた艇のリストは**大会公式掲示板（オンライン）**に掲示し、その艇のヘルムスマンに**Eメールで連絡する。**

17.6 SI及びNoRの規則で **[SP]** または**[DP]** の記された規則、クラス規則、RRS Gの規則およびRRS 77の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

17.7 レガッタ最終日では、**審問の再開の要求**は、次の時間内に**オンラインで提出**しなければならない。

(a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。

(b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後20分以内。この項は、RRS 66を変更している。

17.8 レガッタ最終日にはプロテスト委員会の判決に対する救済要求は、判決の掲示から20分以内でなければならない。これは、RRS 62.2を変更している。

18　得点

18.1 レガッタが成立するためには、シリーズの3レースを完了させることが要求される。

18.2 もし4レースが完了できなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。

18.3 ４レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

19　安全規定 [NP] [DP]

19.1 **[SP]** 出艇する前に、各艇はタリーボードから自艇の黄色タリーカードを取り、白色を残してチェックアウトをしなければならない。着艇する際には、各艇は着艇後速やかに、抗議受付締切時刻までに、タリーボードに自艇の黄色タリーカードを返却して、チェックインしなければならない。

19.2 **[SP]** タリーによるチェックアウトは、各日の最初のレースのスタート予告信号予定時刻の80分前から受け付ける。その日の再出艇の場合は再度タリーボードにより、チェックアウト・チェックインしなければならない。

19.3 レースを途中でリタイアする艇（DNF）は、頭上に両腕でバツ印を作ることにより、できるだけ早く運営船に伝えなければならない。

19.4 リタイア報告書の提出
レースに参加しない艇（DNC）、レースを途中で止めた艇、フィニッシュ後にリタイアした艇は、速やかに「リタイア届け」をレース委員会に提出しなければならない。**大会公式掲示板（オンライン）**から**リタイア届けフォーム**を入手し、オンラインでレース委員会に提出しなければならない。

19.5 レース委員会又はプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態と判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。この場合、艇からの救済の要求は認められない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

19.6 救助を求める必要がある場合には、手のひらを広げて振り、その意思を表すこと。救助の必要がない場合には、こぶしを握って振ること。

20　乗員の交代と装備の交換 [NP]

20.1 参加申込にてエントリーしたヘルムスマンの交代は許可されない。

20.2 レース委員会が納得する理由を除いて、同じクルーが全てのレースで乗艇しなければならない。やむを得ない事情でクルーの交代を要求する場合は、**大会公式掲示板（オンライン）**の上部にある**青色の＋ボタン**を押す事でアクセスできる**乗員の交代申請フォーム**に記入のうえ、送信する事でレース委員会に提出しなければならない。許可を得た後でなければ交代することはできない。一度交代したクルーはレースに復帰できない。

20.3 **[DP]** 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、**大会公式掲示板（オンライン）**の上部にある**青色の＋ボタン**を押す事でアクセスできる**装備の交換申請フォーム**に記入のうえ、送信する事でレース委員会に提出しなければならない。

21　装備と計測のチェック [NP] [DP]

艇または装備は、クラス規則とSIに従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇はレース委員会またはテクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。艇はこれらの指示に従わなければならない。

22　運営艇

運営艇の識別旗は以下のとおりとする。

運営艇	レース委員会	プロテスト委員会	テクニカル委員会	メディア
識別旗	白地に赤字でRC	白地に赤字でJURY	白地に赤字で MEASUREMENT	白地に緑字で MEDIA

23　支援艇 [NP] [DP]

23.1 支援艇は、レース委員会事務局から支給された識別旗（ピンク色旗）を掲揚しなければならない。

23.2 支援艇は、準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、添付図4のスタート・エリア及び、艇がレースで帆走することが予想される範囲の50m外側にいなければならない。

23.3 スタート信号後、支援艇はフリートについて行くことはできるが、コースのポート側のみで、マークから50m外側にいなければならない。

23.4 レース委員会艇に「数字旗8」が掲揚された場合、すべての支援艇は救助活動に協力しなければならない。この場合、SI 23.2、23.3は適用されない。

24　ゴミの処分

ゴミは、レース中を除き支援艇または運営艇に渡してもよい。

25 無線通信 [NP] [DP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。この制限はモバイル・フォンにも適用される。

26　賞および後続大会への参加資格

26.1 上位6チームを表彰する。

優勝	優勝杯（持ち回り）賞状
2位～3位	賞状と賞品
4位～6位	賞状

26.2 上位5位までのスキッパーには2021年の全日本選手権大会のシード権を与える。

27　責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 4『レースをすることの決定』参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害若もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

28　保険 [NP] [DP]

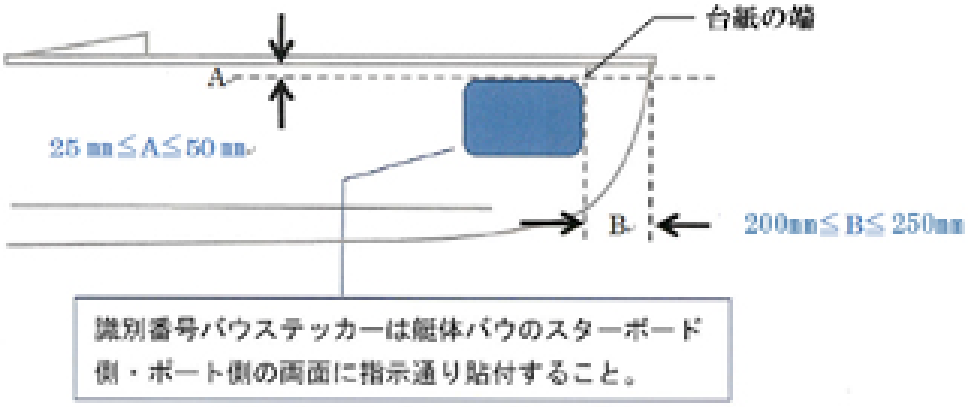
競技者は、有効な第三者賠償責任保険に加入していることを推奨する。

29　ドーピング・コントロール

本レガッタは、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。対象者はJADA検査員他関係者の指示に従わなければならない。

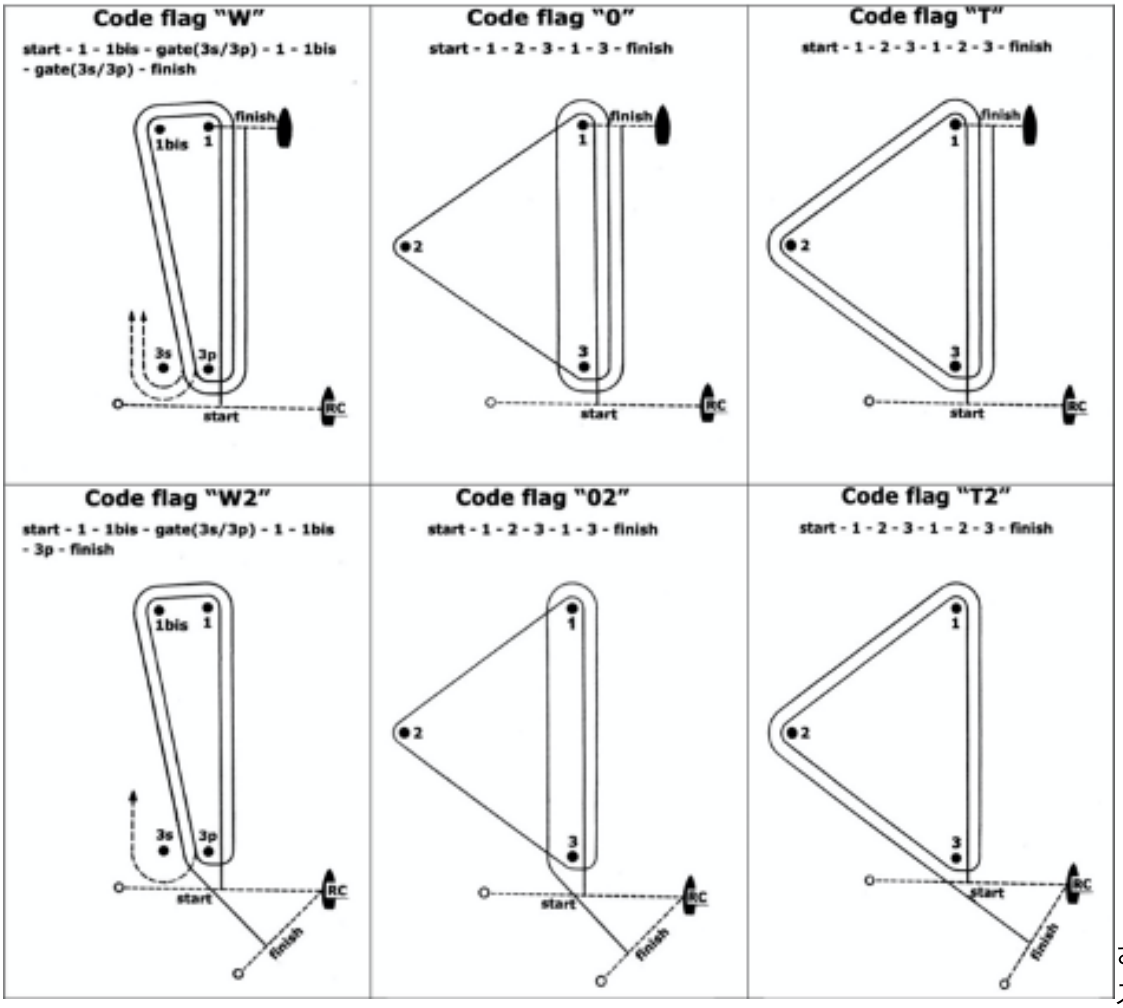
SCIRA代表　渡部 洋介

添付図1　　**バウNo. ステッカー貼付位置**



添付図2　　**コース図**

風上/風下コース　　トライアングル/風上/風下コース　　２つのトライアングル

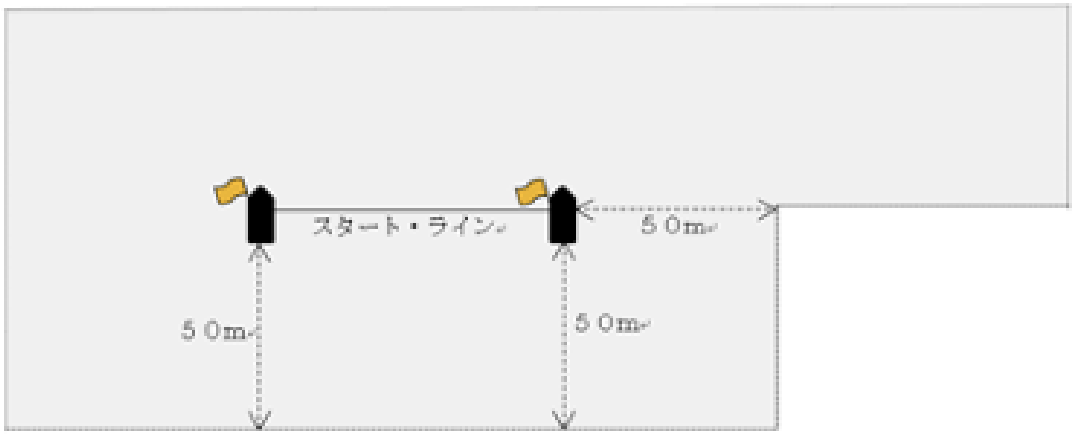


推奨されるレース・コース

０－　５Knots	Do not Start
６－１８Knots	Windward/Leeward (W-W2)
１５－１８Knots	Triangle-windward-leeward (O-02)
１６－２３knots	Two Triangles (T-T2)
２４ and above knots	Do not start

添付図3　　**レース海面**

添付図4　　**スタートエリア**



※　潮汐表（和歌山港）

11/13(金)中潮		11/14(土)大潮		11/15(日)大潮	
満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
4：06	10：05	4：58	10：50	5：47	12：01
16：11	22：34	16：44	23：14	17：17	